

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	緑化推進事業						担当部	都市建設部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	みどり公園課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	花と緑推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		1 緑化意識を高めます									
		副目的	27-3													
	予算区分	款	8		項	4		目	4		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	小牧市を緑とやすらぎのある美しいまちにすることを旨とし、市民の緑化意識の高揚と市民自らによる緑化推進を促す。														
	内容 (手段)	<p>○25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市緑化推進協議会へ緑化事業を委託した。 (協議会の具体的な活動としては、緑化木の配布、緑の教室、緑化施設見学など。) (委託料 7,900千円) ・みどりの少年団活動を支援するため、県補助金の交付申請等の事務を行っている。 ・花修景花壇への花苗配布を公園緑地施設管理事業から緑化推進事業とした。 (原材料費3,486千円) ・小牧市生け垣設置奨励事業補助金交付要綱、屋上等緑化奨励事業補助金交付要綱に基づき、市民からの申請により補助金を交付しているが、25年度の申請は0件であった。 (補助金 0千円) ・あいち森と緑づくり税を財源とした小牧市都市緑化推進事業補助金では、緑化事業の経費の一部を補助し民有地の緑化を推進した。25年度の申請は、3件であった。 (補助金11,701千円) <p>○26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花修景花壇への花苗配布を緑化推進協議会の花いっぱい運動へ統合一元化し、緑化推進協議会へ委託する。 ・小牧市緑化推進協議会へ緑化事業を委託している。 (協議会の具体的な活動としては、花いっぱい運動の花苗配布、緑化木の配布、緑の教室、緑化施設見学など。平成26年度から会員の緑化活動に対する助成事業を新設する。) (委託料11,000千円) ・みどりの少年団活動を支援するため、県補助金の交付申請等の事務を行っている。 ・花苗等購入費 (原材料費520千円) ・小牧市生け垣設置奨励事業補助金交付要綱、屋上等緑化奨励事業補助金交付要綱に基づき、市民からの申請により補助金を交付する。 (補助金 1,000千円) ・あいち森と緑づくり税を財源とした小牧市都市緑化推進事業補助金で、緑化事業の経費の一部を補助し民有地の緑化を推進する。 (補助金 10,000千円) 														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	11,372	7,986	23,127	22,562	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052
		その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	1,275	1,589	1,376	1,589
		費用合計	千円	13,699	10,627	25,555	25,203	
	対前年比	%			77.5	240.4	98.6	
財源	一般財源	千円	10,297	10,627	13,854	15,203		
	国・県支出金	千円	3,402	0	11,701	10,000		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	緑化推進協議会活動回数	回	目標	14	14	14
実績				14	14	14	
生け垣設置・屋上等緑化奨励事業補助金交付件数		件	目標	8	8	8	
			実績	0	1	0	
小牧市都市緑化推進事業補助金		件	目標	5	5	5	5
			実績	1	0	3	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
緑化推進協議会会員数	人	目標	1,050	1,050	1,050	1,050	
		実績	989	977	881		
民地緑化面積 (民有地緑化補助により緑化された面積)	m2	目標	1,010	1,010	1,010		
		実績	154	6	1,914		

事業の自己評価	平成25年度の事業の達成状況	緑化推進協議会の会員が減少傾向である。しかしながら、減少傾向であった民地緑化面積は、増加した。また、みどりの少年団は、結団を呼びかけた結果、25年度から3校増え、4校となった。				
	平成25年度の事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化推進協議会は、市民との協働の核となる組織として、充実させていく必要がある。 ・生け垣設置や屋上等緑化の補助は、近年、利用者少ない状況である。 				
	事業を縮小・廃止したときの影響	市民のみ、企業のみでの緑化推進は限界があり、事業を廃止すれば、市内の緑化推進が減退する恐れがある。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	緑化推進協議会の会員数は、概ね900人程度で推移しており、協議会事業は一定の成果が上がっていると考えられるため。				
	27年度以降の改善案	補助事業は、チラシを活用し積極的なPRを行っていく。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。